

第36回こども育成支援会議で出た意見と回答(PDCA結果報告書)

	ページ数	No.	事業名	意見内容	会議での回答内容	担当課回答内容
宗清委員	79	1260 (4302)	公園等の整備及び維持補修	持越し課題の「相反する要望」とは具体的に何か。相反する要望にどう対応するのか。 公園は小中学生は広いボールを使える公園がほしい。遊具がある公園は未就学児が対象？	こども政策課 「相反する要望」については担当がないので次回お答えしたい。公園の利用について、基本的にはボールの使用は制限していないが、子どものマナーが悪く近所から苦情がくると制限せざるをえない。	例えば遊具一つしか設置できない場所に鉄棒をつけてほしいという意見と滑り台をつけてほしい意見に分かれる場合がある。その場合は地域の自治会長に地元の意見を調整していただき事業を実施している。 公園そのものに対象年齢はなくすべての世代の方が利用していただいて問題はないが、遊具については対象年齢を幼児(3~6歳)用、児童用(6~12歳用)としています。 ボール遊びができるような広い公園については用地確保の問題などもあり、新たに設置することは困難と考えています。
〇〇委員	80	1261 (4303)	交通安全啓発・指導	「幼児の自転車乗車時におけるヘルメット着用の推進等」とあるが幼児だけで大丈夫なのか。小学生も危ない運転をしたりする	こども政策課 担当課がないので次回お答えしたい。	児童又は幼児(13歳未満)の自転車乗車時のヘルメット着用は、道路交通法に努力義務として規定されておりますので、小学生も対象に啓発しております。 したがって、本文中「幼児の」という文言は削除します。

※()は第4期計画の事業番号